



令和3年1月4日

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）」に係る第5回公募の 研究開発課題採択について

ヒト iPS 細胞由来血小板製剤の開発を進めている株式会社メガカリオン（本社：京都府京都市下京区、代表取締役社長：赤松 健一）は、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が実施する「医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）」に係る第5回公募の研究開発課題に、当社が研究開発を進めております「iPS 細胞由来 HLA ホモ型血小板の実用化」が採択されましたので、お知らせいたします。

医療研究開発革新基盤創成事業（CiCLE）は、産学官連携により、我が国の力を結集し、医療現場ニーズに的確に対応する研究開発の実施や創薬等の実用化の加速化等が抜本的に革新される基盤（人材を含む）の形成、医療研究開発分野でのオープンイノベーション・ベンチャー育成が強力に促進される環境の創出の推進を目的としています。

当社は、オープンイノベーションによるインフラ構築というコンセプトの下、優れた日本の技術を結集して研究開発活動を行っております。今回の研究開発課題も、共同研究を行っている京都大学 iPS 細胞研究所の江藤浩之教授および宮崎大学医学部の澤口朗教授と共に研究開発を進めてまいります。課題採択により、本年に実施を予定しているヒト iPS 細胞由来 HLA ホモ型血小板の日本での臨床試験および製造販売承認取得に向けた活動を強化するとともに、我が国発のヒト iPS 細胞由来の再生医療等製品として、米国・欧州をはじめとする諸外国への国際展開を進めて参ります。

【株式会社メガカリオンについて】 <http://www.megakaryon.com/>

京都大学、東京大学の発明によるヒト iPS 細胞から血小板を産生する技術の臨床応用を目指して2011年に設立されました。少子高齢化の進行や感染症の拡大等によって献血が不足し、十分な血小板輸血を実施できない可能性があります。当社は感染等のリスクを排したヒト iPS 細胞由来血小板製剤を工業的に大量生産することによって、世界の医療現場へヒト iPS 細胞由来血小板製剤を供給することを目指しています。2013年より産業革新機構（現、株式会社 INCJ）の支援を受けるとともに2015年には、「世界の医療分野における我が国の国際競争力の強化に寄与する取り組みであるとともに革新的な再生医療に関する研究開発であり、その事業化の推進が国家戦略特区の目標に合致する」として、国家戦略特別区域法に基づく特定中核事業の適用第1号案件として内閣総理大臣より認定を受けました。また2020年2月には内閣府主催の第2回日本オープンイノベーション大賞において当社の

取組みがパートナー各社とともに科学技術政策担当大臣賞を共同受賞しました。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社メガカリオン

広報担当

Mail : info@megakaryon.com

Tel: 03-5423-5898（東京オフィス）